



教科名： ボデー電装Ⅲ

2024年度

実習

一級自動車工学科・自動車整備科

時 期： 2 年 前期

科 目： 自動車整備作業

時限数 ： 32時限

<改訂履歴>

改訂年度	改訂事由	発行日/担当	
FY24	シラバスメンテナンス	3/18	合田
FY25			
FY26			
FY27			
FY28			
FY29			

教頭	課長	学年統括	教科担当	教科担当

一級自動車工学科・自動車整備科		2024年度		授業計画	
時 期	2 年前期	単 元	実 習	教科名	ボデー電装Ⅲ
科 目	自動車整備作業	教科書等 持参品	日産3級電装	発行日	2024年3月18日
			サーキットテスター		
※ ※ ₁ 総時限	32時限			実習ノート（初回授業時配布）	教科担当
※ ※ ₁ 授業時間	51.2時間				

一般科目と休講等予期せぬ事態に備えた余剰分を含め、合計時間は1945.6時間（50分ベース）を確保（法定合計時間1800時間（50分ベース））

1. 指導教員の実務経験

該当 非該当

実務経験がある教員により、E．S．Mを活用してパワーウィンドウ・電動ミラーの故障探求ができるように指導する。

2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）

1．E．S．Mを活用してパワーウィンドウ・システムの故障診断ができる。
2．パワーウィンドウ・システム、電動ミラー各システムの電気の流れを理解できる。
3．不具合現象の確認ができるようになる。
4．故障箇所を推定し、サーキット・テスターを用いて電圧測定ができるようになる。
5．リムーバーツールを使用してドア・フィニシャの脱着ができる。

3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）

1．E．S．Mを活用できるようにする。
2．回路の構成を理解し、正常時の電気の流れを追えるようにする。
3．不具合現象から、ある程度の故障箇所を予測できるようにする。
4．故障箇所を裏付ける電圧測定ができるようにする。
5．ドア・フィニシャの脱着ができるようにする。

4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）

実習評価点は、技術評価点（70点）+レポート評価点（15点）+取組評価点（15点）とし、60点以上（工学科は70点以上）を合格とする

技術評価点

・実技試験 70％ ① E.S.Mが活用しての故障診断

・筆記試験 30％ ① パワーウィンドシステムの電気の流れ・作動
② 電動ドアミラーシステムの電気の流れ・作動

5. 準備学習

1．1年次に行った電装の学科・実習の内容をあらかじめ復習しておくこと。
2．授業終了後、教員から指示されて教科書・資料の項目を復習しておくこと。

※注1 総時限の1時限は、80分/1時限を表し、授業時間の1時間は、50分/1時間を表す

※注2 ●⇒実務経験がある教員 ■⇒日産資格保持者

6. 指導目標

1．E．S．Mの内容を理解して活用し説明出来るようにさせる。
2．パワーウィンドウ・システムの理解して活用し説明出来るようにさせる。
3．電動ミラーのシステムの理解して活用し説明出来るようにさせる。
4．ドア・フィニシャの脱着を理解して、説明出来るようにさせる。

授業計画

[illegible]

一級自動車工学科・自動車整備科		2024年度		授業計画	
時 期	前期	単元	実習	教科名	ボデー電装Ⅲ
7．安全（KYのため必ず授業内で説明）					
番号	作業名	遵守事項		災害事例	チェック
1	フェンダーカバー、4点セットの取り付け、取り外しの厳守	お客様の車に傷をつけないこと。			
2	エンジン始動時の声かけ	班員の返事がないときは始動しない。			
3	車両実習はペアで必ず行動すること。	安全のため、一人で行動しないこと。			
8．授業レイアウト（写真の貼り付けも可）					
実習場					
第一実習場					
					
※車両はZ E Oリーフを4台使用する。			実習車両1台当たり4～5名（5グループ）で実習を行う。		